

シルバー やまがた

第112号 平成25年10月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター広報部会
正会員数 914名 賛助会員 53個人・52団体(9月末現在)



コスモスと富神山(第6地区 伊藤和男さん撮影)

—— 内容紹介 ——

- | | | | |
|------|--------------------------|-----|------------------------|
| P2 | 事業普及啓発促進月間
市長・議長へ要請活動 | P8 | 人あり・技あり・心あり
女性部会だより |
| P3 | 地域班・職群班担当理事決まる | P9 | 就業会員を訪ねて
新入会員紹介 |
| P4 | 安全標語入選発表・安全講習会 | P10 | 事務局だより |
| P5 | 地域紹介「わが街自慢」 | | |
| P6～7 | 会員のひろば | | |

10月は事業普及啓発促進月間です

「地域社会により一層根ざそう」

少子高齢化が進展する中で、高齢者の就業やボランティア活動による地域社会への参加が求められており、シルバー人材センターの役割がますます大きくなっています。

こうした状況を受けて、十月を事業普及啓発促進月間と定め、全国一斉にシルバー事業の社会的意義、活動内容等を広く地域住民に理解していただくとともに、センターへの加入の働きかけ、就業拡大に向けて普及啓発活動が展開されます。

当センターにおいてもセンターの存在や仕組み等を地域に浸透させるため、積極的な啓発活動を実施することといたしました。

会員の皆様もごぞつて活動に参加されるようお願いをいたします。

一 事業の実施期間

十月一日（火）から十月三十一日（木）

二 事業の実施内容

- ① 「広報やまがた」へのチラシ折り込み等による情報提供
- ② 役員による街頭啓発活動
- ③ 会員による啓発活動（イチイチ運動の推進）
- ④ ボランティア活動
- ⑤ 文化祭会場でのパネル展示によるPR活動
- ⑥ 県シルバー人材センター連合会主催の安全就業推進大会への参加

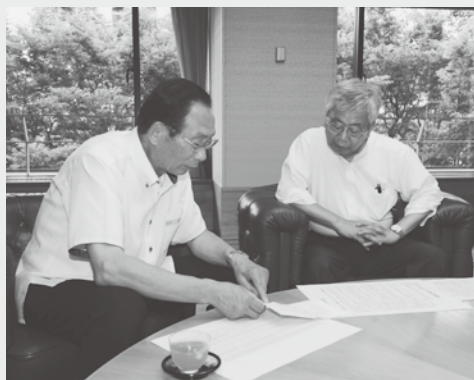
全シ協総会決議を受け

市長・議長へセンターへの支援を要請

全国シルバー人材センター事業協会の総会決議による統一行動として、七月二十九日、長瀬理事長と阿部事務局長は、市川山形市長と加藤賢一議長に対して要望書を手渡しました。

この度の要望書は「社会の支え手」を実践するシルバー人材センターに対する補助金の確保や公共事業の発注などの特別の配慮と最長三年の派遣契約期間の適用除外を要請しようとするものです。

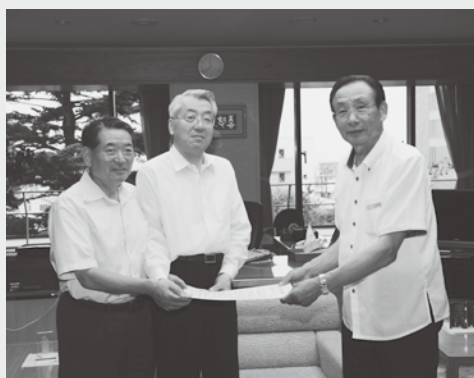
当日は、市川山形市長、加藤議



市川市長に要望内容を説明する長瀬理事長

長・石澤副議長に直接お会いして、山形市及び山形市議会のセンターへのご支援に対してお礼を述べるとともに、要望書の内容を説明し、センターの実情を訴えてまいりました。

市川市長は、センターの実情をご理解いただくとともに、最長三年の派遣契約期間の適用除外については、センター事業への影響も大きいことから山形県市長会の議題とすることを約束していただきました。



要望書を受け取る加藤議長・石沢副議長

地域班・職群班担当理事決まる！ 『自主・自立』のセンター運営に理事の力を！

山形市シルバー人材センター中期事業計画の後期分（平成24～26年度）では理事の地域班・職群班担当制を25年度から実施することとしています。昨年度は、その試行として各地域班の研修会に担当理事が出向き、会員の意見等を伺い、それらをセンターの運営に反映させることを目指してきました。6月12日に開催された今年度通常総会で今期の理事が承認されましたが、第4回通常理事会において地域班・職群班の担当理事が議決されました。

地域班担当理事

理事名	地域班
鈴木 健一	第一、第七、蔵王
鈴木 洋一	第四、鈴川三、西部
山川 良男	第五、滝山
加藤 芳男	第三、鈴川二、南山形・本沢
小林 誠	第九、鈴川一、南沼原
上谷 一郎	第十、千歳
村田せつ子	第二、金井・大郷
佐藤美紀子	第六、出羽・明治
矢代 鉄也	第八、東沢、飯塚・榎沢
樋口 健一	西、山寺・高瀬・楯山

職群班担当理事

職群名	職班名	理事名
技術群	パソコン班	山川 良男
	経理事務班	
	特殊技術班	
技能群	襖・障子班	鈴木 洋一
	剪定班	
	技能班	
事務整理群	一般事務班	小林 誠
	筆耕班	
管理群	施設管理班	鈴木 健一 樋口 健一
	市駐車場管理班	
	市体育施設管理班	
折衝外交群	折衝班	矢代 鉄也
	外交班	
一般作業群	除草班	加藤 芳男 上谷 一郎
	草刈り班	
	放置自転車対策班	
	屋外作業班	
サービス群	福祉サービス班	村田せつ子 佐藤美紀子
	家事援助班	
	子育て支援班	

担当理事制の目的は？

地域班及び職群班は、地域課題や職域課題をシルバー事業に反映させる大きな役割を持っています。

そして、各理事が地域班及び職群班の活動や内容を把握し、センター運営に役立てることは大切なことでもあります。

また、地域班や職群班に対し、会員である担当理事が指導、助言を行うことは、センター運営の基本である「自主・自立」の理念の具現化に繋がることでもあります。

担当理事制は、理事の責任体制の確立を図るとともに、経営体として

のシルバー人材センターの組織強化を目的として実施するものです。

担当理事の役割は？

それでは、担当理事は何をするのでしょうか。

地域班に対しては、地域班のスムーズな活動や課題解決へのアドバイス等を行ないます。

具体的には、地域班長等との意見交換会を通しながら、コミュニケーションを図り、地域班の運営に対してアドバイス等を行ないます。さらに地区研修会や地域班のボランティア活動にも出向き、世話役や会員との意見交換も行なっていきます。

職群班に対しては、職群班の実績等を把握するとともに、スムーズな活動や課題解決へのアドバイス等を行ないます。

具体的には、地域班と同様に職群班長等との意見交換会を通してそれぞれの実情や実績等を把握し、事業運営に役立てます。

また、会員への適正就業や安全就業を推進すると共に啓蒙を図っていきます。

以上のような活動を通して、理事と会員が一緒になってセンターの「自主・自立」の組織運営を目指してまいります。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

第10回

安全標語入選発表・安全講習会

八月三十日、山形テルサにて、第十回安全就業標語入選発表会が行われ、応募数二百四編の中から、最優秀作品一編、優秀作品二編、佳作六編が入選発表されました。入選された皆さま、おめでとうございます。

安全標語入選作

最優秀

慣れるほど 油断と過信が 事故のもと
(南沼原地区 吉田 正)

優秀

目配り 気配り 点検は 安全作業の第一歩
(西地区 渡辺美沙子)

事故「〇」を 目指すシルバー 安全就業
(南山形・本沢地区 鈴木 正孝)

佳作

気を抜くな 集中するのは 今でしょ！
(第六地区 忠鉢 元)

「行って来るよ」 今日も元気な 声を出し
(第七地区 村上 宏治)

ヒヤッ!とした その一瞬 忘れるな
(第八地区 佐藤 敏弘)

ヒヤリハットの体験を 生かして今日も
無事故の笑顔

(第十地区 神戸 文行)

事故ゼロの 意識なくして 笑顔なし
(鈴川一地区 武田 一夫)

気のゆるみ チョットの油断 事故のもと
(滝山地区 沼沢 久雄)

安全講習会

安全就業推進委員会

委員長 矢代 鉄也

八月三十日、山形テルサにて、第十回安全就業標語入選発表会及び安全講習会が行われました。

安全講習会では山形市長寿支援課予防推進係長の佐藤 香氏を講師に迎え、「高齢者の健康づくりについて」の講演がありました。

いつまでも若さを保ち生涯現役を目指すして「体と脳を鍛えて若さを保つ」講師の巧みな話に引き込まれ、会場の会員の皆さんも参加して、A四判に書かれた文字を読むだけではなく文字の色を出来るだけ早く読む遊び感覚で、脳を活性化し若さを保つ「脳トレ」や、「手」「足」「脳」を同時に使った体操に、会場は笑い苦笑の入り混じった楽しい講演でした。

健康であり続けるには、「脳を鍛える・働く・笑う・人の良い所を探す」これが秘訣。山形市シルバー人材センターは、高齢者が、いつまでも若さを保ち、健康で就業が出来る、環境の整った最適の場所ではないでしょうか。



健康体操の様子



受賞者の皆さん

第二地区

山口 貞治

第二地区五日町には上町勢至堂があります。山形市街地域の南・旧羽州街道の入口上町街道に面し、参道、山門をくぐり進むと左手には、市保存樹大銀杏、その北側には第二勢至堂遊園地があり、近くの子どもの達の遊び場となっております。勢至堂には、特大の勢至菩薩像が祀られております。大勢至堂菩薩は、智慧を授ける菩薩、又午歳生まれの方の守り本尊であるとも云われており、年末・年始や四月の例大祭には、多くの参拝客で

賑わっております。御堂は寛文十一年（一六七一年）の建立で、参百余年の歴史があります。現在の建物は、明治四十三年に町民の寄付によって再建されたものと云われています。本堂では、上町奉賛会、同町内会、老人クラブ、子ども会等の行事に活用されており、町民にとっては、無くてならない集いの御堂として喜ばれており、有難く、我が町にとって自慢の御堂と思っています。



上町勢至堂

地域紹介

わが街自慢

パートII



滝山地区

奥山 聖司

滝山地区は二十九の町内会によって構成されており、人口は二万五千人を超えます。

さらに現在、東日本震災によって避難されている方が二百八十人と人口増加をたどっている地域ですが、地域活動の母体は、二十九名の町内会長で組織されている滝山地区町内会連合会です。

さて、最近、滝山地区で話題になっていいる「山形寺子屋塾」を紹介します。これは、地区内に居住する退職教員の三浦照子先生の発案により、滝山コミュニティセンターにおいて始まりました。

平成二十四年の春休みから、学校の長期休暇中に、避難されている小中学生を対象に学習支援を行っている活動です。現在、趣旨に賛同された先生は三十名登録されており、「塾」の話が広まって隣接する学校の児童も参加するようになり、全

体の児童数は五百名に至っております。この数はまだ増加傾向にあり、滝山地区の新しい町づくりを担うものとして期待するものです。

また、滝山地区は歴史の町でもあり、昨年、明治二十三年から三十年頃に作成された豊四畳分ほどの滝山村の地図が発見され、話題になっております。



友人とのゴルフの出会い



鈴川三地区
杵淵 勝利

昔はゴルフをする人は、金持ちの遊びと思われていた頃、友人よりゴルフのよさを大いに聞かされ感銘し、練習場に通いましたが一向に上達しません。止まっているボールを前に打つことのむずかしさを痛感いたしました。

イラするが、ナイスショットの快感は他の何ものにも例えようがない程気持がよいものでした。

練習していた折、友人からコースでプレーしようと誘われ行ったところ、フェアウェイやグリーンの緑と周囲の景色の美しさに感嘆しましたが、いざプレーとなると練習の成果は全く出ません。顔に冷や汗、頭の中は真っ白になり散々な思いをいたしました。

家に帰ってから友人と一杯飲みながらルールやマナーのこと、プレーの反省を数多く語り合ったものです。今こうしてプレー出来るのも、友人のご指導のおかげと感謝しております。これからも健康に留意して、一日も長くプレー出来ることを楽しみに人生を送りたいと思います。

新たな発見



第七地区
斉藤 明子

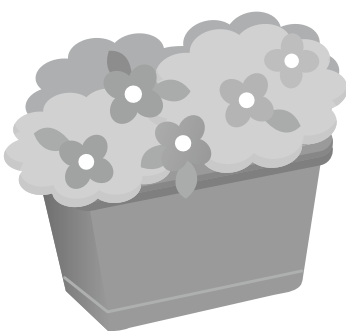
日頃の運動不足の解消と趣味を兼ねて、毎日一時間のウォーキングと霞城公園でのラジオ体操に参加しています。在職中にはなかった、時間に余裕のある生活を楽しんでいましたが、何か新しい発見、出会いを期待してシルバーに入会しました。

早速ホームセンターでの植木などのお世話の仕事を頂きました。植物に関しては全く無知であり多少の不安はありましたが、思い切つて引き受けました。短い期間でしたが、大変楽しく働くことができました。

特徴など教えて頂いたり、沢山のお客様との一言二言の会話をするうちにすっかり植物が好きになりました。何か植物を育ててみたいなりハーブを二、三種類購入しました。教わった育て方のコツのおかげでぐんぐん成長し、今ではお料理のちょっとしたアクセントに大活躍しています。今まで植物にあまり興味のなかった私にとって新たな出会い、発見でした。今後も自分の視野を広げられるよう沢山の活動に積極的に参加していきたいと思えます。

ひろば

つながり



多員の健康・趣味

登山



東沢地区
富塚 敬美

私の趣味は登山です。登山を始め
て八年になります。

最初は友人に誘われて、軽い気持
ちで登りました。コースは蔵王片貝
沼からザンゲ坂を通って、三宝荒神
山に登りました。途中苦しく辛かつ
たのですが、山頂は素晴らしく感動

しました。

最近では六月に福島県に一泊で
行って来ました。

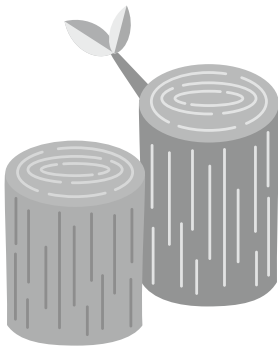
初日は猫魔岳を目指して歩き、山
頂は岩山でわかりづらかったのです
が、桧原湖、猪苗代湖をきれいに望
むことができました。

二日目は浄土平の駐車場から酸ヶ
平経由で一切経山へ向かいました。

山頂からの展望は三百六十度。眼下
には五色沼「吾妻の瞳」の火口湖は、
たとえようがないほど美しかったです。

登山を始めてからは、腰痛も肩こ
りもなく、以前より良好です。

皆さんにも是非おすすめします。



天然ぼけ



第二地区
鈴木 靖子

仙台で駅の近くにいた事に気づ
かずハイヤーに乗り、「駅までお願
いします」「お客さん乗る前に言っ
て下さい駅は目の前です」

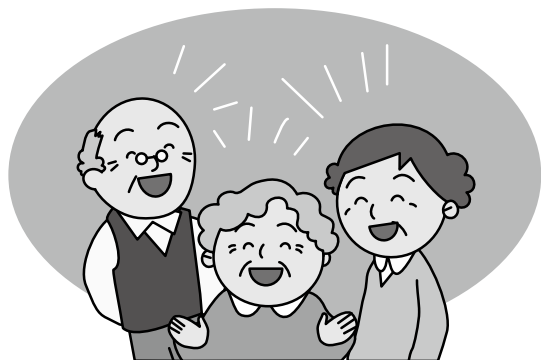
また夜の街で「あら不思議、い
つも右に三越があるのに何で今夜
は左にあるの」「みんな「？」逆方
向からの街並が全然違って見える。

初めてパソコンに向かった時「マ
ウスを廻して下さい」と言われ宙
で廻していた。

また初めて電話の子機なるもの
を使った時、耳にあてる方を口に
持つて行き「文明の利器って不便、
何も聞こえない」とボヤいていた
自分。

昼の電車に乗り読書に夢中にな
り目的地についたと言われ降りた
所暗い！「東京の暮は早いね」「あ
のここは地下鉄なんだけれど」
齢を重ねると、私の天然ぼけに
も磨きがかかってくるようです。

鏡の中の自分に向かって「あな
た誰」なんてならないように、食
べて、歩いて、眠られる、ごくあ
たり前の事であるが、こんなささ
やかな事に幸せを感じている昨今
です。



シルバーに

人あり 技あり 心あり

家族の絆をつくる

趣味の木彫り



武田智恵子

第十地区

鎌倉彫に魅せられていた武田さんは、子育ての時期に鎌倉彫を行う方と偶然知り合ったことから鎌倉彫をするようになったそうです。この出会いは、「自分の人生を充実させてくれた」と振り返っておられました。師と仰ぐその方は、本人が技術習得半ばで他県に転居という不運がありました。その後、木彫り教室があることを知り入会し、今でも仲間と共にお互い切磋琢磨して作品づくりに励んでいるそうです。

木彫りの作品づくりの手順は、描いた図案を写し、荒彫り、仕上げ彫り、そして色付け・ラッカー・カシュー塗りをして完成させていきます。木彫りに使う木は、朴(ほお)、桂、桜等を使用して、印刀・平刀・まがり刀等々何種類もの彫刻刀で彫っていきます。

作品づくりの過程で特に注意しなければならぬ点は、図案の描き方で、これを疎かにすると全体のバランスが崩れてしまい満足した作品ができないそうです。

武田さんの家に伺ったときに、玄関や居間にさりげなく、自作の品々が置かれていました。上品で部屋にマッチして見えたのも、気持ちを込めて完成させたからだと思います。

武田さんは、娘さんが嫁ぐときに、半年間かかり作成した一面鏡を贈ったことが一番印象に残っているそうです。一つひとつ丁寧に彫りあげていくことを心がけて、これからも家族の成人式や誕生日に木彫りをプレゼントしていきたいと意欲を示しておられました。(取材・広報部)



作品「祈り」

女性会員講習会

女性部会だより

「いきいきメイクレッスン」を開催

去る七月二十三日、女性部会

主催の「いきいきメイクレッスン」講習会を開催いたしました。

エステティシャン石原優子先生をお招きし、夏の強い日差しにも負けない紫外線対策や、日頃の肌のお手入れ方法、そして私たちシルバー世代がいつも若々しくいられる、とっておきのメイク術を教えていただきました。参加されたパワフルな皆様は、真剣に鏡と向き合いながらも、プロのテクニクにドキドキ、わくわくの二時間でした。その後、会場を移し開かれた昼食会では、おいしいものに舌鼓を打ちながら、これまで女性部会をささえてきて下さった大先輩の貴重な体験談をお聞きたり、女性ならではの笑いにあふれた楽しいひとときとなりました。

今後、女性部会では、会員の皆様のご希望にそって、いきいきと活動いただけるよう、講習会や交流の場を設けていきたいと考えております。ぜひ、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。



女性部会長 村田せつ子

就業会員を訪ねて

阿部健次郎（自転車のリサイクル）

八月三日、リサイクル自転車の即売会場である双月作業所に阿部さんを訪問し、事業の概要をお聞きしました。

朝早くからお客様の来場がありましたが、今回はいつもより少ないということでした。

多い時は、整理券を得るために五時頃から来場されるそうです。

リサイクルする自転車は、地域で問題となっている放置されたものを保管し、一定期間経過後に所定の手続きによって無償譲渡を受けたものです。

リサイクルの台数は、五人の会員で年間約百台になります。即売会は年四回行っています。分解整備の技術についてお聞きしますと、五人とも現役時代に自動車整備関係の仕事で培った経験を活かしているとのこと。機械に触れることが好きで、仕事を楽しんでいるそうです。

でも最近ではリサイクルする台数が少なくなっているそうです。



六カ月以上も放置され、風雨にさらされてしまうと錆が生じて整備することが難しくなるためです。放置される自転車が少なくなることを願う一方で、リサイクル事業が続けられれば良いなと思います。資源の有効活用のためにも。

（取材・広報部）

新入会員紹介

（7月1日～9月30日迄）

第二地区	岡崎八千代	飯塚樫沢地区	渡辺 敏
小関 良一	東沢地区	会田 健治	
今野久美子	滝山地区	永沢 慶次	
朝一 悦子		名和せい子	
伊藤ハツ子		芳賀 安弘	
吉田 勤也	出羽明治地区	石山 征子	
伊藤好太郎		関口あつ子	
菊地 義雄		赤塚 和子	
秋場 徹	山寺高瀬樋出地区	兼子 仁	
稲葉 秀雄		緒方 由美	
長岡 弘美		森谷 盛克	
岡田 敬子	蔵王地区	武田 正一	
太田 正樹	南山形本沢地区	横尾 政雄	
武田 正義	南沼原地区	中津川善己	
由利 健悦		渡邊己世子	
米田 幸男		阿部喜久夫	
後藤 周子		古瀬千代子	
柳谷 利一	西部地区	渡邊 幸夫	
鈴川三地区			
鈴川二地区			
鈴川一地区			
第十地区			
第八地区			
西地区			
第七地区			
第六地区			
第五地区			
第四地区			
第三地区			

事務局だより

山形市シルバー人材センター
山形市双葉町一丁目二番三号
電話(0)23(6)4716(4)7

URL: <http://www.sjc.ne.jp/yamagatahi/>
E-mail: yamagatahi@sjc.ne.jp

新事務局職員紹介

どうぞよろしくお願ひします。



臨時職員 齋藤 弘子
子育て支援
コーディネーター



臨時職員 小笠原詩織
子育て支援
コーディネーター

各地区での総合健診は必ず受けましょう!

健康でなければ良い仕事はできません。各地区の総合健診を受診して、健康管理に努めましょう。

センター緊急連絡先

〇九〇一六二五五―五三〇二
土日・祝日に事故等が発生した場合の緊急連絡先です。

お知らせとお願ひ



配分金支払日

- 十月十八日(金)
- 十一月二十日(水)
- 十二月二十日(金)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

- 十月十日(木) 十七日(木)
- 二十四日(木)
- 十一月七日(木) 十四日(木)
- 二十一日(木)
- 十二月五日(木) 十二日(木)
- 十九日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

- 十月十日(木)
- 十一月十四日(木)
- 十二月十二日(木)

行事イベント案内

地区研修会に参加しましょう

本年も各地区ごとに開催されますので、皆さんのご参加をよろしくお願ひします。

山形県シルバー

人材センター連合会 安全就業推進大会

日時:十月十日(木) 十三時
場所:山形ビッグウイング

創作品展示即売会

日程:十月二十六日(土) 一
二十八日(月)

場所:山形テルサ二階(互助会文化祭会場)
出品作品の準備をお願いします。

計 報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

清野 末吉さん(六十五歳)

(蔵王地区)

あとがき

「月刊シルバー人材センター(全国シルバー人材センター事業協会編)」に全国各地域シルバー人材センターの事業が紹介されています。取り組まれている事業は、生活支援や子育て支援をはじめ、休耕田の活用と農業支援、小動物園の管理、デイサービスセンターの開設など多方面にわたっています。

それらの事業は、地域の状況や特性、地域のニーズに応じて、リタイア世代の多彩な知識、経験等を活かしているものであることが窺えます。

そして就業機会の拡大、事業開拓の場は地域にあること、シルバー人材センターの事業はその地域の中で継続されていくものであることを示唆しているように思います。当センターに対しても地域の要望や期待がもつとあるのではないのでしょうか。

十月の事業普及啓発促進月間における取り組みを掲載いたしました。当センターの存在を広く周知し、事業を担う人材である会員を増やしていく月間にしましょう。